



食育だより

令和7年 11月
第7号
茨城県立友部特別支援学校



11月の目標 「地場産物を知ろう」

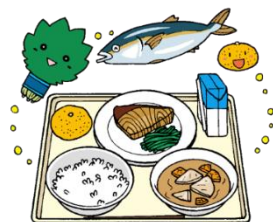


秋が深まってきました。間もなく冬の足音も聞こえてきます。今月は23日に勤労感謝の日があります。農業、漁業、畜産業などにかかわっている人や配送をしたり食事をつくったりする人たちなど、いろいろな人たちのおかげで、毎日食事をする事ができます。こうした方たちへの感謝の気持ちを忘れないようにしましょう。



地場産物を食べよう！

みなさんの地域では、どのような農作物がつくられていますか？ 自分の住む地域でつくられる地場産物を知り、生産者の人の努力を身近に感じてみましょう。また、ぜひ各家庭の食卓にも積極的に取り入れていきましょう。



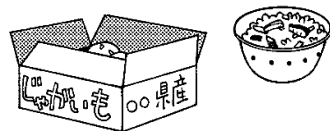
給食にはこんな人たちが かかわっています!!

わたしたちが毎日食べている給食には、栄養士さんをはじめ、調理員さん、農家の人、畜産にたずさわる人、漁師さんや水産業にたずさわる人、食材を運んでくれる運搬業の人など、たくさんの方の手がかかわっています。そして、わたしたちの元へと給食が届けられているのです。感謝の気持ちを持って給食をいただきましょう。



給食にも 使っています！

学校給食では、地場産物の活用が図られています。また、こうした地場産物を使った各地の郷土料理や伝統料理が献立に積極的に導入されています。



食べ物の命をいただいています！



わたしたちが食べている食べ物は、どれも生き物の命をいただいているものばかりです。また、生産者や料理をつくってくれた人たちなど、さまざまな人びとの手を経ることで、毎日の食卓に並んでいます。食事をする時には、感謝の気持ちを忘れないようにしましょう。そして、苦手な食べ物がある場合には一口でも挑戦して、できるだけ食べるように努力をしてみよう。

～給食で笠間の栗ごはん～

10月10日の献立で「よかっぺ栗ごはん」に笠間の栗を使用しました。今回は、笠間JAさん協力のもと、「ふかさわ農園様」より笠間の栗を提供いただきました。とても甘く、子どもたちもたくさん食べてくれました。また、ふかさわ農園様のご厚意で、取材をさせていただき、生産者の苦労や、やりがいなどの貴重なお話を動画にして、給食時間に見せたところ、熱心に見ている様子がうかがえました。地元の食材を知ることで、食べ物や生産者の方々へ感謝の心が育ってくれたと思います。



栗澤ご夫妻
ありがとうございました。
🍠

